



# GOOD NEWS ときのことえ

# War Cry

## 9月号

福音版  
2024  
September  
No.2875

二〇二四年 九月一日発行

明治二十八年創刊

福音版・毎月一日発行 広報版・奇数月十五日発行

## 秋の訪れとともに

### 福音を知る

山谷 真



ようやく待ち遠しい秋が訪れました。うだるような夏の暑さが早く和らぎ、過ごし易くなることを願います。秋は、心が穏やかになるシーズンです。そんな秋に、少しでも人生の意味や目的について考えてみませんか？

私たちは毎日、多くの出来事に囲まれています。仕事や家庭、友人との関係、社会のニュース。それらはすべて私たちの生活の一部であり、大切なものです。しかし、それらに埋もれて、自分の内面と向き合う時間ももつことが少なくなっているかもしれません。そんな私たちにとって、秋はイエス・キリストの福音に触れる良い季節です。

福音とは何でしょう？ 今から約二千年前にイエスという人物がこの地上に生まれ、人々に伝えた「良い知らせ」のこと。それが福音です。イエスは神の子として、人々の罪を赦し、永遠の命を与えるために十字架にかかり、死なれましたが、三日目に復活されました。聖書に記されているこれらの出来事は、クリスチャンの信仰の根幹を成して

います。

「罪」と聞くと、私たちは何か大きな悪事や犯罪を思い浮かべるかもしれませんが、しかし、聖書が言う罪とは、神から離れてしまっている状態を指します。私たちの心の中には、自分勝手な思いや欲望があり、それが神との関係を壊してしまうのです。イエスは、その罪を取り除き、神との関係を回復させるために来られました。

イエスの教えは「愛」に満ちています。イエスは、隣人を愛し、敵すらも愛することを説かれました。この愛は、自分だけでなく他者を大切にすることを育みます。イエスの愛は、条件付きではなく、無条件の愛です。どんな人でも、どんな過去をもっている人も、イエスはその人を愛し、受け入れてくださいます。

福音の中心には希望と平安があります。私たちの人生には困難や試練がつきものです。しかし、イエスを信じることで、どんな困難の中でも希望を見いだすことができます。イエスは

「わたしは道であり、真理であり、命である」

と言われました(ヨハネによる福音書14章6節)。この言葉は、イエスが私たちの導き手であり、真実を教えてくださる存在であることを示しています。

イエスを信じることで得られる平安は、本当の心の安らぎです。私たちがどれほど不安や心配を抱えていても、イエスがすべてを包み込み、癒してくださいます。祈りを通してイエスと会話することで、私たちは心の重荷を軽くし、人生に対して前向きな気持ちをもつことができます。

この秋、あなたもイエス・キリストの福音に触れてみませんか？ もし、少しでも興味をもたれたなら、救世軍にご連絡ください。また、近所の教会やクリスチャンのお友だちを訪ねてみてください。そして、心を開いてイエスと出会う時をもつていただきたいと思えます。

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」(ヨハネによる福音書3章16節)

(救世軍士官(伝道者))

# 神の導きの物語

## —日本での50年

ウェーラー・ルツ・エステルさん  
(日本キリスト教団魚津教会牧師)



来日50年を記念して教会の皆さんから贈られた花束を持って

スイスから来日して五十年、富山で長く宣教師、牧師として奉仕しておられるウェーラー先生。「幼い頃から救世軍、特にプラスバンドが大好きだった」と言われます。その信仰の歩みをお聞きしました。

### 生い立ち〜幼い頃の出来事

私が生まれたのは両親にとって驚きでした。母の体調不良で、兄と姉が生まれた後、もう子どもは産めないと言われていたからです。両親は「神からの贈り物」に大喜びし、無事に生まれるように祈ってくれました。妊娠七カ月の初めのある日、母は、今すぐ手術してほしい

いと医師に頼み、数時間の手術の後、私は産声を上げました。母の使い古した聖書には、「あと一日でも長く待っていたら、母子共に生き延びられなかっただろう」と医師が証言した、というメモが残っています。退院後、愛情あふれる温かい家庭へ連れて帰られま

したが、私が二歳半の頃、叔母と叔父が私の世話をするこことになりました。彼らは私を娘にするつもりでした。小学三年生の夏休みに実家に帰った時、母と父から翌春にはここに帰ってきざつと一緒に行けると告げられました！ところが、夏休みが終わった一週間後、飲酒運転のドライバリーによる交通事故で父が亡くなりました。

叔母と親戚が母に、私を手放すよう迫り、私にも、家族と別れるようにと言ったのは本当に悲しいことでした。けれど私の心には、父の約束がありました。「次の春には家に帰ってきて、休暇の時だけじゃなく、ずっと一緒にいられるんだよ。」次の休暇の時、叔母から家に帰るために新しいスーツケースを渡され、休暇が終わったら帰って来るようにと言われました。家に着き、母、兄、姉に迎えられ

### イエス・キリストとの出会い〜青年時代

た時、それは天国のようでした。叔母の家に戻る日が近づくにつれ、私は、ここにこのままいる、という決意が強くなりました。母は、私を手放すと叔母に約束していたので、良きクリスチャンとして大変悩みました。最終的に、スーツケースだけ郵便で送り返され、私は家に残りました。

た時、それは天国のようでした。叔母の家に戻る日が近づくにつれ、私は、ここにこのままいる、という決意が強くなりました。母は、私を手放すと叔母に約束していたので、良きクリスチャンとして大変悩みました。最終的に、スーツケースだけ郵便で送り返され、私は家に残りました。

生活は楽ではありませんでした。多くの困難、病気が苦痛がありました。神と母に愛されていることを常に知っていました。なぜなら、家に帰ってから数カ月後、私はイエス・キリストの福音を聞いたからです。神は私を完全に愛しておられますが、私は罪人であり、それを認めて、神がすべての人間に与えてくださった救いを受けるまで、神のもとに来ることはできません。(人種、肌の色、信条の別はありません)その救いの御業とは、イエス・キリストが私たちの世界にいられたことです。クリスマスはそれを思い出す時です。創造主である神に助けと導きを求めない罪は、罪のない

ネによる福音書3章16〜17節) この御言葉がはつきりと語っているように、今や誰もが創造主である神と交わりをもつことができ、それが良い知らせ、福音です。私たちは神を天の父と呼ぶことができます。公立学校卒業後、私は勉強に励み、商業学校、看護師養成学校、聖書学校、そして経営管理のコースを受けて卒業しました。大学院の会計部門で六年間働き、このうち四年間は患者の財務カウンセラーとして働きました。当時は誰もが保険に入っていたわけではなく、こうした患者を助ける方法を見つけるのが私の仕事でした。私は常に母の祈りに支えられながら育ち、教会での奉仕もし、病院で得たすべての業績と高い給与をとっても誇りに思っていました。この頃の楽しい思い出の一つは、いろいろな教会の若者が救世軍の信徒と一緒に、地域の飲み屋に行つて伝道することを許された夜でした。彼らは、酔っ払っている客のマナーの悪さから私たち女の子を守ってくれました。救世軍の人たち

\*1 カルバリ:イエスが十字架につけられた場所の名。アラム語「ゴルゴタ」(「されこべの場所」の意味)のラテン語訳から派生した英語。



1975年正月、境之谷教会の前で



赤ちゃんの頃の唯一の写真。母、兄、姉と。

### 日本へイエス様との約束に 응답して

はいつも親切で、決して怒ったりしませんでした。女の人たちはたいていギターを弾いていました。私は彼

らが好きでしたが、ボンネットをかぶるのは私には向いていませんでした！

私はビジネスの世界で成功を目指すとして、自分のしていることに満足して

いました。ある夏休みに、教会の子どもキャンプを手伝いました。そこでの早朝の祈りの中で、イエス様は、私が十歳の少女だった時にした約束について語られました。イエス様が私に「日本で私の光になってくれますか？」と尋ね、私は「はい」と答えていたのです。

キャンプから数日間は、

夜よく眠れませんでした。私はイエス様に、こんなに

満足のいく仕事に就く前にもっと早く尋ねてほしかったと感じましたが、何日かした後、平安と喜びの心で答えることができました。「はい、神が道を開いてくださるなら、日本に行きます。」

その数年前、私はトウインで小出忍牧師に出会っていました。長年の知り合いである、私の牧師を訪ねて来ておられたのです。驚いたことに、私が神の導きに

応答した数カ月後、日本キリスト教団の彼の教会で働くようにという手紙を受け取りました。若く、神の導きに自信があった私は、自分のお金で日本に行くことを決め、その後、時間をかけて、私を支えてくれるスイスの友人グループを築いていきました。ベルンのバプテスト教会が私の母国での拠点となりました。

一九七四年十月二十七日、日本に到着した時、私が知っていた日本語は「さよなら」だけでしたが、羽田空港では、境之谷教会の信徒の方々が歓迎してくれました。飛行機から降りた瞬間、深い喜びが私の中にこみ上げてきました。神が私のために計画なさったことをおこなうことができ、とても幸せでした。この喜びは、その後の多くの困難を乗り越える力となりました。

一九九〇年代に、友人を通して、日本の救世軍の司令官、テッド&ルイズ・モリスと知り合い、友情を

一九七四年十月二十七日、日本に到着した時、私が知っていた日本語は「さよなら」だけでしたが、羽田空港では、境之谷教会の信徒の方々が歓迎してくれました。飛行機から降りた瞬間、深い喜びが私の中にこみ上げてきました。神が私のために計画なさったことをおこなうことができ、とても幸せでした。この喜びは、その後の多くの困難を乗り越える力となりました。

育みましました。私の大切な友人が亡くなり、とてもつらかった時期にも、モーリス夫妻は支え、助けてくださいました。一九九四年に私は四方町から立山町に引っ越しました。そこで日曜日午後、「ゆりの友の会」という会合を開くようになりました。そして毎年クリスマスにはミュージシャンを招いてのコンサートや、クリスマスの意味を分かち合う昼食会に多くの知人を招くようになりました。

二〇〇〇年、会議のためアトランタへ行った時、アメリカへ帰国していたモーリス夫妻が空港まで迎えに来て、ホテルに連れて行ってくれました。日曜日、救世軍と一緒に礼拝に参加し、ご家族とも交流しました。夕食の席で、彼らの息子の一人はいつの日か日本に行き、父親と同じ立場になるかもしれないという話を聞きました。やがてテッドとルイズは天国へ召されました。彼らに会えなく寂しくなりました。

二〇〇三年に魚津に引っ越しました。立山、富山、そして魚津に関わることになり、当時はかなり忙しくし

ていました。最終的に神様は私に、日本キリスト教団魚津教会の牧師となる扉を開いてくださいました。このように奉仕できることは、大きな祝福であり特権です。クリスマスコンサートで演奏するミュージシャンを探していた私は、救世軍のブラスバンドを思い出し、思いきって東京の救世軍の本部に手紙を書いてみました。やがてジャパン・スタッフ・バンド(JSB)の引地楽長が電話をくださって今に続くこの友情が始まりました。約十年前のその時私たちは五カ所でコンサートをしました。その後、他の国の救世軍のブラスバンドが出演した東京でのチャリティコンサートに私が招待されたこともありました。キリストの喜びと愛を共に分かち合うことは、何と祝福なことでしょう。

何年もの間、テッドとルイズの息子はいつ日本に来るだろうと思っていました。二〇二二年の夏、私は日本の救世軍のYouTubeチャンネルを見つけ、そこでステイブン&ウエンディ・モーリスの司令官就任礼拝を観ました。とても嬉



2022年12月、コンサート後に富山電気ビルのエントランスで社会鍋のアピールとともに演奏するJSB



ステイブン&ウエンディ・モーリス夫妻と

しくて、すぐに東京にメッセージを送りました！その年、私たちは富山のいくつかの場所で一緒にクリスマスのメッセージを届けました。翌年も同様にすることができました。長年にわたる友情と、神の導きの物語は私にとって貴重なものです。主がこれからもどのように導いてくださるか、楽しみにしています。

\*2 当時、女性の救世軍の信徒が着用していた制服用の帽子

創立者 ウィリアム・ブース 大將 リンドン・バッキンガム (万国本営 英国ロンドン) 日本司令官 スティーブ・モーリス (救世軍本営 東京都千代田区)



世界をみつめて

〈全世界の救世軍での取り組み〉

●現代奴隷制・人身取引と救世軍

ILO (国際労働機関) によると、2021年時点で世界で5000万人、つまり150人に1人が強制労働や強制結婚の状況にあると報告されました。5年前と比べて1000万人近く増えたこととなります。武力紛争やパンデミックなどを背景に増加しています。

救世軍では、その活動の初期から、人



祈りのキャンペーンへの参加はこちらから (英語) <https://signup.24-7prayer.com/signup/24ed0f/>

間が売られるという忌まわしい事業に反対する戦いに尽力してきました。しかし、大陸間の奴隷制度が廃止になった後にも、女性や子どもたちが性産業のために売られていることを救世軍は認識し、世界中でこのような事態を防止するための働きをしています。

救世軍は、「変革のために手をつなぐ」をテーマに、人身取引に統合的な方法で対応しています。神を土台とし、各国の救世軍同士で、また、他のNGOや支援団体とパートナーを組み、より緊密に協力することで、多様な現状に応じて回復を実現できるよう、働きを進めてきました。具体的には、「現代奴隷制及び人身取引に対する行動のための枠組み」を定め、「8つのP」— PARTICIPATION (参加)・PREVENTION (予防)・PROTECTION (保護)・PROOF (証明)・POLICY (政策提言)・PARTNERSHIP (パートナーシップ)・PROSECUTION (訴追)・そしてPRAYER (祈り) に基づいて、様々な活動をおこなっています。

救世軍では毎年、「人身取引被害者のための世界祈禱日」を定め、この問題に心を向け祈る機会としています。今年は9月22日(日)が祈禱日で、9月15

日から22日まで、全世界の救世軍で一週間の祈りのキャンペーンをおこないます。オンラインで参加登録できます。

〈カリブ海周辺の国々〉

●ハリケーン「ベリル」被災地での対応

6月末、カリブ海からメキシコ湾にかけて急速に発達したハリケーン「ベリル」は、グレナダ、ジャマイカ、メキシコ、アメリカのテキサス州などに甚大な被害をもたらしました。救世軍のカリブ軍国ではジャマイカとトリニダード・トバゴでの被害を調査し、支援を計画しています。また、アメリカ南部軍国の救世軍は緊急支援車両8台を出動させ、ヒューストン周辺で、被災した方々のため、必要な物資や食事の提供をおこなっています。

☆『キッズ・ゴスペル』コーナー☆ (子ども向け紙面)
左のQRコードから、今月の『キッズ・ゴスペル』を閲覧できます! 聖書のお話も動画で見られます。ぜひ、ご覧ください!
[QR Code]

救世軍とは? What is The Salvation Army?
心は神に 手は人に Heart to God, Hand to Man

救世軍は、世界134の国で活動するプロテスタントのキリスト教会で、国際本部は英国ロンドンにあります。1865年、英国のメソジスト教会の牧師ウィリアム・ブースと妻カサリンによって始められ、東ロンドンのスラム街で、困難な生活状況にある人々に助けの手を伸べつつ、神様の愛を伝えてきました。

日本では1895(明治28)年に英国から士官(伝道者)が来日して救世軍の働きが始まり、今年で129周年を迎えます。現在、全国40の小隊(教会にあたる)での伝道や子ども食堂などの地域奉仕とともに、2つの病院(ホスピス併設)、19の社会福祉施設を通して働きを進めています。また、今

登ヘルプ」(能登地震キリスト災害支援会)との連携のもと、食事(炊き出し)支援や、倒壊した輪島塗工房の蔵から貴重な作品や道具を取り出す支援活動に携わっています。毎年秋におこなう「感謝祭募金」は、このような日本国内の救世軍の働きへのご支援をお願いするものです。救世軍に属する者がまず献げると同時に、広く皆様にご協力をお願いしております。ご理解とご支援を賜りますなら幸いです。



年1月に発生した能登半島地震被災地では、「能



各地の小隊での集会にはどなたでもお越しいただけます (左写真: 大阪・天満小隊で)

救世軍公報 ときのこえ
発行日 福音版/毎月1日、広報版/奇数月15日
定価 福音版/1部40円、広報版/1部100円 (税込)
クリスマス特集号(12月1日号)/1部100円
振替 00180-5-4400
発行兼 救世軍
印刷人 代表者 スティーブ・モーリス
編集人 山谷 真
発行所 救世軍本営 <https://www.salvationarmy.or.jp>
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17
電話 03-3237-0881(代表)
Mail [jpn.editorial@jpn.salvationarmy.org](mailto:jpn.editorial@jpn.salvationarmy.org)
印刷所 ピーアンドエス
[QR Code]
[Social Media Icons]

聖書は新共同訳を使用しています ©共同訳聖書実行委員会 ©日本聖書協会 救世軍は、旧統一協会、エホバの証人、モルモン教ではありません。これらの問題でお悩みの方は、下記救世軍にご相談ください。
【取り扱い支部】
救世軍への連絡をご希望の方は、以下の中から該当する項目及び住所氏名をご記入の上、救世軍本営(左記)もしくは、上記救世軍にご連絡ください。
・私の近くの救世軍を紹介してください。 ・キリスト教についてもっと知りたいです。
・『ときのこえ』の購読を申し込みます。 ・相談を希望します。